

資料提供

平成30年11月1日

都市計画課

(公財)いしかわまちづくり技術センター

電話 076-232-2255 (内線 5895)

「まちづくりシンポジウムin山中温泉」の開催について(ご案内)

(公財)いしかわまちづくり技術センターでは、住民や行政などが地域のまちづくりのあり方を考える街並み・まちづくりシンポジウムの開催を支援しています。

この度、加賀市において、地域住民全体の繋がりの強化と意思の共有を図り、人口減少が進む地域の展望を考える場として、まちづくりシンポジウムを開催しますので、下記のとおり案内します。

記

- 1 テーマ 若者が踊り、おかんとおとんが支えるまち
～人口減少が進む地域を次世代とともに考える～
- 2 日時 平成30年11月11日(日)
受付：18:30～ 開会：19:00～
- 3 場所 山中座 (加賀市山中温泉薬師町ム1)
- 4 主催 加賀市まちづくりシンポジウム実行委員会
共催 石川県、加賀市、(公財)いしかわまちづくり技術センター
- 5 内容
18:30 開場・受付
19:00 開会
19:10 基調講演「人口減少期における新たなまちづくりの方向性」
19:50 山中温泉の若手とベテランのディスカッション
21:30 閉会
※詳しくは別添の案内チラシをご参照ください。
- 6 申込み方法 チラシ裏面の参加申込書にご記入の上、メールまたはFAXでお申し込み下さい。参加費は無料です。
- 7 問合せ先 加賀市まちづくりシンポジウム実行委員会
TEL 0761-72-7295
FAX 0761-72-7212

若者が踊り、 おかんとおとんが支えるまち

人口減少が進む地域を次世代とともに考える

2018 **11.11.sun** 受付開始 18:30
19:00 - 21:30

会場 **山中座** 定員 **100人** 入場料 **無料**

加賀市山中温泉薬師町ム1

プログラム：

基調講演 19:10-19:40

横張 真氏 (東京大学教授)

「人口減少期における新たなまちづくりの方向性」

ディスカッション 19:50-21:20

山中温泉の若手とベテランのディスカッション



スケジュール

19:00

開会 —— 加賀市長 宮元 陸 挨拶

19:10-19:40

横張 真氏よこはり まこと (東京大学教授) による基調講演
「人口減少期における新たなまちづくりの方向性」



東京大学大学院工学系研究科教授
東京生まれ。専門は緑地環境計画学。博士(農学)(東京大学)。
日本都市計画学会前会長、日本造園学会会長、
国土交通省社会資本整備審議会臨時委員、
東京オリンピック・パラリンピック組織委員会委員等を務める。

19:40-19:50

休憩

19:50-21:20

山中温泉の若手とベテランのディスカッション

- コーディネーター / 三島 由樹 —— 株式会社folk代表取締役
- コメンテーター / 横張 真 —— 東京大学大学院工学系研究科教授
- パネリスト / 我戸 正幸 —— 山中木製漆器協同組合企画管理委員長
- 吉本 龍平 —— 山中温泉旅館協同組合理事
- 下木 雄介 —— 和酒 BAR 縁がわ店主
- 佐藤 愛子 —— グラフィックデザイナー
- 堀江 美佳 —— 写真家
- 櫻井 比呂之 —— 山中商工会会長
- 辻 和成 —— 山中温泉町内会連合会会長
- 田向 公一 —— 山中温泉旅館協同組合理事長

21:30

閉会

会場へのアクセス

車でお越しの方へのご案内

北陸自動車道片山津ICより車で約25分

会場周辺に専用駐車場はありません。

山中健民体育館の臨時駐車場(右図)からシャトルタクシー(無料)で山中座にお越しください。

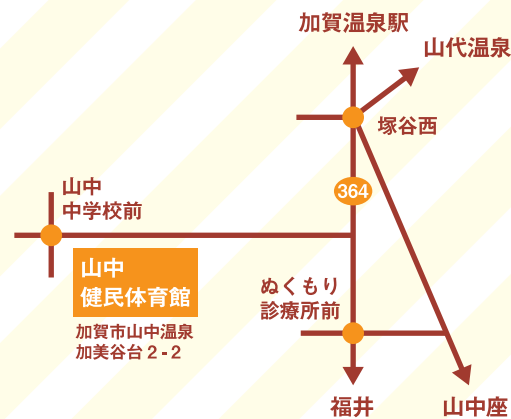
※臨時駐車場～山中座までの所要時間約5分

※運行時間：往路 18:00～19:00 (5～10分間隔) 復路 21:30～22:30

電車でお越しの方へのご案内

JR加賀温泉駅より路線バスで約30分

山中温泉バスターミナルから徒歩で約5分または菊の湯前停留所から山中座まで徒歩1分



参加申込先 下記参加申込書に記入の上、FAXをいただくか
E-mail: toshikeikaku@city.kaga.lg.jp に送信ください。

↓ FAX 0761-72-7212

*申し込みがない場合も当日会場に空席があればご参加いただけます。

氏名	団体名 (団体所属者のみ)	お住まい	電話番号	臨時駐車場利用
		市内 ・ 市外		有 ・ 無
		市内 ・ 市外		有 ・ 無
		市内 ・ 市外		有 ・ 無

2018 11.11.Sun 受付開始 18:30 19:00 - 21:30

若者が躍り、
おかんとおとんが支えるまち
人口減少が進む地域を次世代とともに考える